

第1回 環境報告ガイドライン及び環境会計ガイドライン改定に向けた研究会 議事要旨

日 時	: 平成28年11月1日(火) 15:00~17:00
会 場	: 都内
出席者	: <ul style="list-style-type: none">委員: 上妻 義直 氏(座長)、後藤 敏彦 氏、沢味 健司 氏 (敬称略、五十音順、所属・役職は資料1に記載、座長は第1回研究会で選任)環境省 総合環境政策局 環境経済課事務局(EY 新日本サステナビリティ株式会社)

主要論点 :

- ✓ 改定の目的
 - ガイドラインの有用性を高めることを確認した
- ✓ 報告の枠組み
 - ESG情報開示の在り方を検討した。またこれを念頭に、ガイドラインの対象範囲、対象範囲外について外部関係諸団体とのパートナーシップ等の可能性を検討した
- ✓ ガイドラインの構造・体系
 - ガイドラインの普及および開示情報の質の向上を念頭に、事業者の負担感を踏まえて、ガイドラインの在り方を検討した
- ✓ その他
 - マネジメントアプローチの開示の在り方を検討した
 - ガイドラインにおける「目標」の意味合い(必達ではない)を検討した
 - 温室効果ガス排出、取水、生物多様性の項目毎に、グローバル動向および我が国の実情に合った情報開示の追求を念頭に、今後重要となるであろう開示情報およびバウンダリー(企業グループ全体、サプライチェーン、バリューチェーン)を検討した
 - マテリアルバランスの在り方を検討した
 - 環境会計の在り方を検討した
 - 今後重要となるであろう開示情報の視点から、ガイドラインに追加すべき環境項目を検討した(資源循環、化学物質、放射性物質による環境汚染)
 - ガイドラインの促進策を検討した

今後の予定 :

- ✓ 第2回研究会を12月に開催し、ヒートマップ案の検討、有識者ヒアリング(投資家、ガイドライン関係者等)を実施する
- ✓ 第3回研究会を平成29年1月に開催し、骨子素案の検討、有識者ヒアリング(企業、ガイドライン関係者等)を実施する
- ✓ 第4回研究会を平成29年2月に開催し、骨子の確定をする
- ✓ 平成29年3月末日までに報告書を取りまとめる

以上